

国民栄誉賞受賞

相撲道を極めた不世出の大横綱。



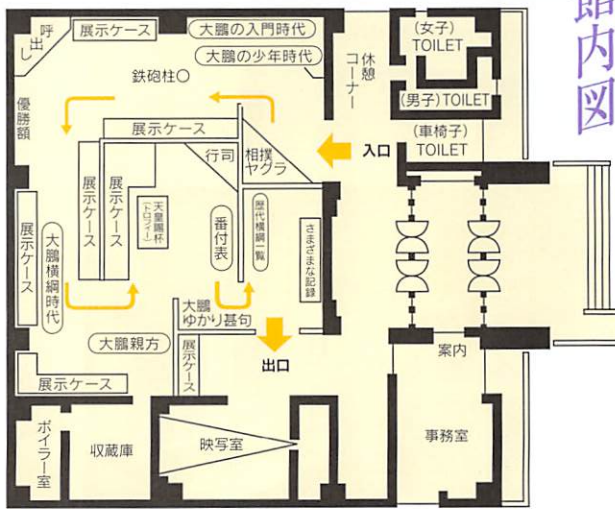
大鵬相撲記念館

第四十八代横綱大鵬幸喜、その栄光と軌跡を一堂に。



大鵬相撲記念館

北海道川上郡弟子屈町川湯温泉2丁目1番20号 電話・FAX(015)483-2924



館内図

相撲甚句

大鵬親方世界人道主義賞授賞記念甚句

「土俵に無敵のあの記録ヨー」
「天にはばけ九方命をヨー」
「鬼師の心をそのまゝに」
「うけて飛び立つ土俵上」
「不屈の斗志で突き進む」
「史上初の最年少」
「四十八代横綱大鵬が」
「残せし記録を数しれず」
「三十二回の優勝」
「四十五戦の連勝」
「王座にすわる」
「十一年」
「大鵬時代と唄われた」
「飾るまわし」
「力士」
「相撲歴史に名を刻む」
「たぐい稀なる名力士」
「あまたファンに惜しまれ」
「弟のかおりを残しつ」
「本日引退大鵬」
「これから親方大鵬の」
「第二の翼ひろくよう」
「どうぞ御支援が、います」

作 呼出し永男
唄 呼出し三郎

弟子屈町名所

「弟子屈町名所甚句に」とは、
「アハハの香もけしる町の中」
「清き流れも銅落川」
「フルーの水が霧の奥」
「神カハシ」
「が滑り居間湖や」
「春には真白きイソツツジ」
「吹き出る煙の硫黄山」
「夏は遊覧飛行」
「空を飛ぶ」
「野には草花七半の群」
「砂浜に遊ぶ」
「若人のロマンを語る」
「屈斜路湖」
「秋には紅葉が」
「ハハハ」
「真紅にそめた」
「大自然」
「あまた数ある」
「その中で」
「郷土が育てた」
「名力士」
「天下にその名を」
「どろかす」
「四十八代横綱大鵬の」
「国技士族の」
「記念館よけ」



北海道栄誉賞受賞記念祝賀会(スナップより)



忍 記念館の入口に飾られていた、大鵬の座右の銘「忍」、大鵬の相撲人生を象徴している一語です。



名横綱 大鵬に大接近。

感動の名勝負!!
熱狂の名場面!!
映画で、写真で再現。
知られざる大鵬の一面も...
記念館ならではの
楽しみです。



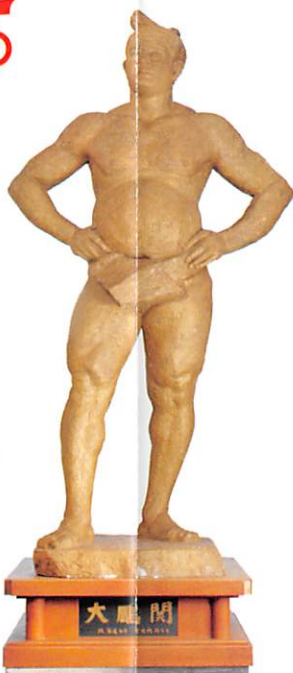
● 番付表



▲ 北海道出身の歴代横綱



● 歴代横綱一覧



● 化粧回し
大関時代に愛用した化粧回しで、「大鵬」の文字は、岸信介元首相の書。



▶ 32回優勝を誇る優勝額が全部掲示されています。

● 相撲ミニやべい



早朝の寄せ太鼓、打ち出しとともに打つはね太鼓。伝統の重々しさを感じさせる「相撲ミニやぐら」は、日本相撲協会の協力を得て、呼びだしの永男さんが弟子屈まで出張して作ったものです。